

大麦特報(第4号)

令和6年3月
なのはな農業協同組合
富山農林振興センター

今年は、平年に比べ積雪が少なく、3月から気温が低めに推移しているため、**大麦の生育は平年並みとなっています。**今後の気温は、平年並みに推移すると予想されており、**止葉展開期は、3月31日～4月3日頃（出穂期は4月11日～14日頃）となる見込みです。**
高品質・高収量の大麦を目指し、**防除や排水対策を徹底**しましょう。

1. 分施肥系での止葉展開期追肥

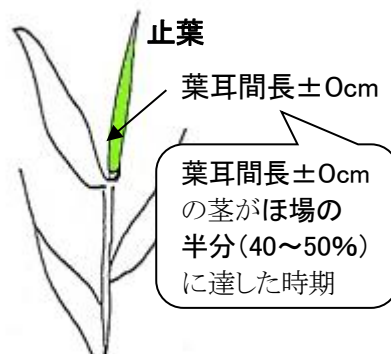
地域や播種日により生育に差があるため、**ほ場ごとに止葉が展開したことを確認**し、生育量や葉色に応じて追肥しましょう。

※追肥時期が早いと、整粒歩合が低下し、施用時期が遅れたり、
施用量が多いと、倒伏や硝子粒の増加につながります。

下記の目安を参考に、**適期・適量**を施用しましょう。

【分施肥系ほ場の追肥の目安】

追肥時期	葉色	予想穂数 (㎡当たり)	10a当たり施用量
3月31日 ～ 4月3日頃	5未満	500本未満	硫安10kg
		500本以上	硫安5～10kg
	5以上	500本未満	硫安5kg
		500本以上	追肥しない



止葉展開期の姿

注) 肥効調節型基肥
(Jコート大麦48号)
を使用した場合は、
原則追肥しない。

2. 赤かび病の防除

赤かび病は、特に**開花始め(1回目)の防除が重要**です。**適期の2回防除に努め**ましょう
(ほ場ごとに必ず開花状況を確認して防除しましょう。)

	1回目	2回目
防除時期	穂揃期（開花始め）	1回目から7日後
液 剤	トップジンM水和剤 1000倍液 150ℓ/10a	シルバキュアフロアブル 2000倍液 150ℓ/10a
粉 剤	トップジンM粉剤DL 4kg/10a	ワークアップ粉剤DL 3kg/10a
無人 航空機	トップジンMゾル 8倍液 0.8ℓ/10a	シルバキュアフロアブル 16倍液 0.8ℓ/10a



赤かび病被害粒
(混入限度 0.0%)

基本は混入不可！

※可能な限り防除効果の高い液剤体系としましょう。

※防除適期に降雨が多い場合でも、晴れ間を利用して確実に防除をしましょう。

※周辺作物や住宅地への飛散防止を図るため、防除は風の弱い時間帯に行いましょう。

3. 排水対策の徹底

排水不良のほ場では、根張りが悪く、施肥効果が低くなります。**溝に水が溜まったままになっているほ場は、早急に排水溝の手直し**を行い、排水を促しましょう。

春の農作業安全確認運動「学ぼう！正しい安全知識」（3月1日～5月31日）